

9-2 経営トップは、経営理念や行動規範の基本姿勢を社外に表明し、具体的取り組みについて情報開示する。

《基本的心構え・姿勢》

経営トップは、「企業は社会の公器」との認識を持ち、社会の構成員としてコンプライアンスはもとより、高い志をもって企業運営にあたる。これにより、企業の経済的責任とともに社会的責任をも果たす。企業活動に関わる情報を積極的に社会に開示することは、社会から信頼を得ることにつながり、企業価値を高めることになると認識する。

《具体的アクション・プランの例》

(1) あらゆる機会を捉えて自社の行動規範、取り組み姿勢、社内推進体制を社外に公表する。

〔情報公開の手段例〕

(イ) ホームページへの掲載

(ロ) 年次報告書への掲載

(ハ) 企業活動の事業・環境・社会的側面を含めた社会報告書への掲載

(ニ) 株主総会での説明

(ホ) ステークホルダーミーティングでの説明

(ヘ) 新聞・雑誌等のインタビューなどの活用

(2) 取引先などの関係者に対しても、自社の行動規範、取り組み姿勢、社内推進体制を周知し、企業倫理への取り組みを要請する。